シルバー長門

第　55　号
令和元年７月１日

環境意識を持ってきれいな海を守っていこう
～日韓海峡漂着ごみ一斉清掃～

5月19日（日曜日）、日韓8県市道による共同交流事業の一環として行う「日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃」が長門市日置の二位ノ浜海水浴場で開催され、村岡嗣政山口県知事、大西倉雄長門市長をはじめ、市民や漁協関係者、日置中学校生徒、県内大学生、留学生などのボランティア約550人が集まり、当センターからも、会員及び職員の数名が参加しました。

開会式の後、参加者は海岸に漂着したペットボトルや漁網、発泡スチロールなどのごみを拾い、燃えるゴミと燃えないゴミに分別して集積ポイントまで運びました。この日回収したごみは3.72トン（可燃3.52トン、不燃0.20トン）でした。「日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃」は日韓8県市道（山口県、福岡県、佐賀県、長崎県および釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済洲特別自治道）の取り組みとして、この日を皮切りに7月まで行われます。

Be a Friend

令和元年度 定時総会

五月三十日(木)午後一時三十分からラポールゆや大ホールにおいて、長門市長代理　大谷恒雄副市長、長門市議会議長代理　重廣正美氏をはじめとするご来賓をお迎えして、盛大に開催されました。

総会は、三浦理事の開会のことばの後、木下理事長の挨拶、来賓祝辞、来賓紹介がありました。

続いて議長に長門地区の永井武司氏を選出し、議案審議に入りました。

議案審議は、第一号議案の平成三十年度事業報告の承認を含め、提出四議案について順次提案理由の説明及び質疑が行われ、いずれも原案のとおり可決、承認されました。

議事終了後、廣田理事の閉会のことばをもって盛会裡に定時総会を終えました。

第一号議案「平成三十年度事業報告の承認について」
第二号議案「平成三十年度収支決算報告及び監査報告について」

シルバー人材センター事業を取り巻く環境は、依然として厳しく当センターも新規会員獲得に向けた開拓を積極的に取り組んでいるものの、定年の引き上げ等、高齢者の再就職促進等の雇用延長の影響などにより増加に結びついていない状況が続いており、会員の増強が引き続き最大の課題となっていること、事業実績は、総受注額が対前年度比六・九％の減となったことが報告された。

引き続き収支決算報告並びに監事の堀喜一郎氏による監査報告が行われた後、両議案は、原案のとおり承認されました。

第三号議案「役員の選任の承認について」

任期満了に伴い、木下紀一郎氏をはじめとする理事候補者十一名、監事候補者二名が推薦され、それぞれ賛成多数により承認されました。また、総会終了後に別室にて理事会を開催し、木下紀一郎氏が理事長(代表理事)として、橋本和則氏が常務理事(業務執行理事)として選任されました。

第四号議案「理事長に対する権限委任について」

これにつきましては、山口県知事に提出する事業報告及び収支決算報告等の関係書類、また一般の閲覧に供する書類等に関しまして、会員の権利義務に関しない軽微な字句の修正、違算や誤字の修正並びに行政庁からの修正指示があった場合にのみ、その修正を理事長に一任いただきたく総会の承認をお願いするものである。という事務局からの提案理由の説明があり、賛成多数により原案のとおり承認されました。

報告第一号「令和元年度事業計画について」
報告第二号「令和元年度収支予算及び資金調達及び設備投資の見込みについて」

我が国の総人口は平成二十年にピークを迎え、以降減少傾向にある一方で、六十五歳以上の高齢者人口は過去最高となっている。こうした中で「生涯現役社会」を実現するため、シルバー人材センターは高齢者の「居場所」と「出番」をつくり、併せて生きがいの充実、社会参加の促進を実行し、地域社会の活性化と社会保障費の削減に寄与しているところである。

しかしながら当センターを取り巻く情勢は依然厳しい状況にあるが、引き続き会員拡大及び就業機会の拡大を最重要課題として取り組み、関係諸機関のご支援、ご協力を賜りながら、効率的な事業運営と活性化に努めていく。

続いて令和元年度収支予算及び資金調達及び設備投資の見込みについて事務局から内容の説明があり、両報告を終わりました。

理事長あいさつ

理事長
木下　紀一郎

新天皇が即位され、令和で迎える記念すべき最初の総会となります令和元年度公益社団法人長門市シルバー人材センター定時総会の開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

本日はご多忙の中、このように多くの会員の皆様方にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、平素から当センターの事業運営に多大なご理解とご支援をいただいております長門市長　大西倉雄様をはじめ、ご来賓の皆様方には、公務ご多用の中、ご臨席を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、我が国は本格的な総人口と労働力人口の減少社会に入っており、今後もこの傾向は続くとみられています。

そのような社会情勢の中、政府は「一億総活躍社会」を提起し、人手不足の解消策として、高齢者の就労促進を強く進めており、昨年十一月末に開催された「未来投資会議」においても、現行で六十五歳までとなっている継続雇用年齢を七十歳まで引き上げることが議論されています。つまり、七十歳まで働くのが当たり前の社会がすぐそこまで来ているのです。

一方、シルバー人材センターを取り巻く環境につきましては、全国的には共働き家庭や独居老人の増加といった社会的背景により受注件数は増加傾向にあるものの、肝心の受け皿となる会員数は、定年の引き上げ、継続雇用制度の導入、高齢者の再就職促進などの影響もあり、毎年減少しています。

そのため、全国シルバー人材センター事業協会は「第二次会員百万人達成計画」を策定し、令和六年度には会員百万人達成を目指しており、各都道府県のシルバー人材センター連合会及び拠点センターに「会員一人一会員獲得運動」をはじめ、様々な会員拡大策に取り組むよう強く呼びかけています。

当センターにおきましても会員数は減少の一途をたどっており、今後は会員・役職員が総力を挙げて「会員の拡大」に取り組むことが何よりも求められています。

こうした中、国及び市などの関係機関からのご支援、特に長門市においては補助金の支援や公共事業等発注の維持に特段のご配慮をいただいていることに対し衷心より厚くお礼を申し上げます。こうした温かいご支援を受けながら、シルバー人材センターの基本理念であります「自主・自立、共働・共助」のもと、会員・役職員が一丸となって親切・丁寧な就業やボランティア活動等を通して地域社会に貢献してまいりました。

平成三十年度の事業実績の概要につきましては、公共をはじめ、企業や団体及び市民の皆様からの温かいご支援により「就業機会の拡大」に努めた結果、前年度に比べて派遣契約金額は一・一％の小幅な増加となりましたが、請負契約金額が六・九％の大幅減となったため、総契約金額は六・四％の減少となりました。

また、安全就業の取り組みでは、安全委員による全地区を対象とした安全パトロールの実施や職群班長による安全就業の指導、点検等、事故の未然防止に努めましたが、残念ながら事故が五件発生しました。自らの安全については、人から言われるのを待つのではなく、一人一人が自分自身で考え、それを日常の仕事の中で具体的な形で実行に移すことが、事故防止にとって何よりも大切です。

今後少子高齢社会が進展することから、地域を支える高齢者の役割がますます大きくなり、シルバー人材センターへの期待も一段と高まっていますので、どうか会員の皆様にはシルバー会員であることの誇りを持ち、健康で生きがいのある生活の実現と、就業や社会参加活動を通して地域社会に貢献できることの喜びを感じていただくとともに、シルバー事業発展のために一層ご尽力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、長門市をはじめ関係機関、関係事業所等の限りないご発展と、会員の皆様並びにご家族の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

役職員の紹介

〈役　員〉

理事長	木下　紀一郎
常務理事	橋本　和則
理事	木下　和江
〃	三浦　政雄
〃	田村　耕治
〃	横田　新吾
〃	長冨　隆士
〃	宗重　宏和
〃	廣田　隆男
〃	光田　洋一郎
〃	宮垣　清久
〃	杉村　京子
監事	堀　喜一郎

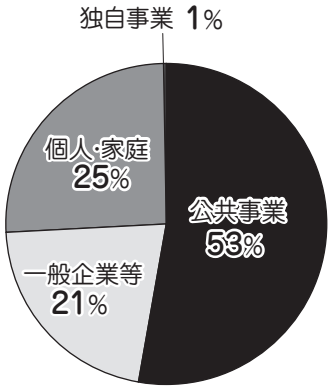
事業実績状況（平成31年3月31日現在）

会員数

（単位：人）

	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	計
男性	0	25	75	114	68	29	311
女性	1	12	37	34	25	19	128
計	1	37	112	148	93	48	439

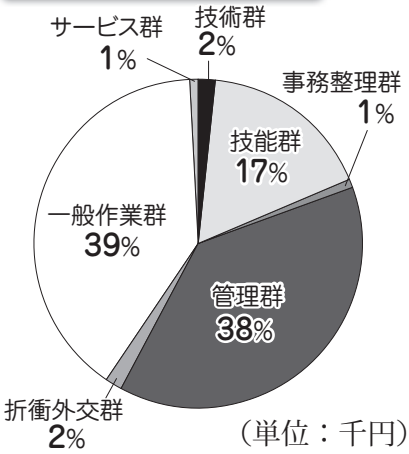
業種別就業状況



（単位：千円）

公共事業	99,449
一般企業等	40,145
個人・家庭	48,060
独自事業	46
計	187,700

職群別就業状況



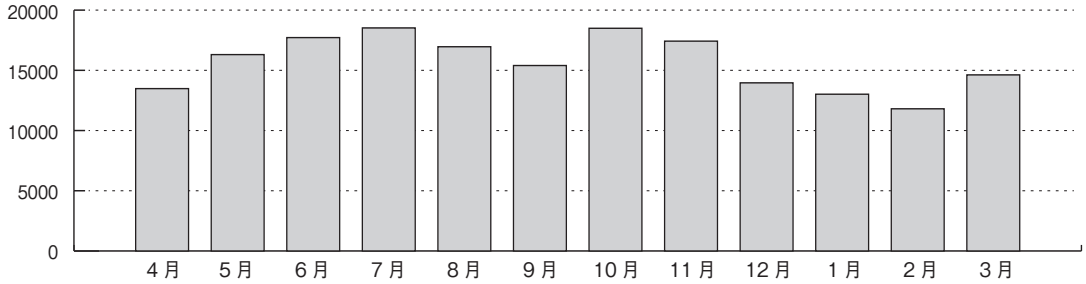
（単位：千円）

技術群	3,454
技能群	31,925
事務整理群	1,375
管理群	71,824
折衝外交群	3,239
一般作業群	74,571
サービス群	1,312
計	187,700

派遣事業実績

件数（件）	14
契約金額（千円）	14,247
就業実人員（人）	28
就業延人員（人）	2,782

契約金額（請負・委任）の推移



（単位：千円）

（月別）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
当年度	13,482	16,306	17,718	18,519	16,958	15,399	18,492	17,424	13,960	13,017	11,805	14,620	187,700

全国統一スローガン

「事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな」

全国安全就業強化月間

令和元年度安全就業対策

～安全が全てに優先する～

（1）安全・適正就業委員会の開催、「安全・適正就業対策基本計画」の策定及び事故の要因分析と具体的な防止策の徹底
（2）重篤事故につながる就業の見直し
（3）ヒヤリ・ハット体験事例を収集し、要因を分析した対策を講じた事故の防止の徹底
（4）損害賠償責任保険事故の防止
（5）就業途上における交通事故の防止
（6）安全就業対策の総点検の実施
（7）安全就業の研修及び点検
（8）適正就業ガイドラインに沿った業務運営の実施
（9）会員からの安全標語の募集、シルバー人材センター・施設・就業現場等への安全標語、垂れ幕、ノボリ等の掲示などによる会員すべての安全意識の徹底
（10）会報等への安全意識啓発のための特集記事の掲載
（11）会員に対して安全意識啓発及び情報の共有化を図るための資料等の配布など
（12）月間中における「安全意識高揚の日」の設定及び安全表彰の実施

山口県シルバー人材センター連合会
事業貢献役員表彰

去る令和元年六月十八日(火)、山口市の県土連ビルで開催された山口県シルバー人材センター連合会定時総会において、県内の優良センター並びにシルバー人材センター事業に貢献された役員の方々の表彰が行われました。

当センターからは、長富隆士理事、また、先日の定時総会をもって退任された山田恵美子前理事の二名が事業貢献役員表彰を受賞されました。

シルバー文芸

俳句

・湯の跡地　ホタル一匹　まよいとぶ
・湯の里に　お客集めて　ホタル舞う
・あじさいの　輝き増して　雨晴るる

深川湯本　大田　浩己

・誰れ彼と　繋ぐ手と手や　くずかずら

深川湯本　佐貫　勝代

短歌

・夏が来た　洗濯物は　日の匂い
　七色干して　向日葵揺れる

深川湯本　佐貫　勝代

川柳

・ふるさとに　集う夕べや　昭和来る

深川湯本　佐貫　勝代

・名も知らぬ　時代(とき)の人なり　ベルリオーズ(※)

東深川　福島　英夫

(※)ベルリオーズ…フランス、ロマン派音楽の作曲家。管弦楽法の大家。

作業の抱負

日置地区　上田　弘志

シルバー人材センターに入会して、就いた仕事は公共施設の管理業務。始めてからまだ月日も浅く、何もわからない状況ですが、先輩方の指導の下、少しずつ一人前の作業ができるように頑張っていきたいと思います。

シルバー人材センターに入会して

油谷地区　江里　たみ子

主人の介護をしながらの入会、働けるのは短時間、私に仕事があるのか…。

でも、介護の合間にできる仕事（宛名書き、電話帳配布等）を紹介してもらい大変感謝致しております。

各家庭へ電話帳を配布する仕事をした際には、空き家などがあり、わからない時は近くの畑で作業していた人に尋ねたりしながら、配り終えたときは安堵しました。

皆様、これからもよろしくお願いいたします。

入会にあたり

三隅地区　坂本　寿和

今年二月に入会し、四カ月が過ぎようとしています。外の作業に従事する中で、たくさんの方との接点もでき、いろいろな話が聞け、楽しく過ごしています。

今後も、諸先輩のアドバイスを聞きながら、事故の無いよう作業にできるだけ参加し、充実した日々を送りたいと考えています。　皆様、何卒よろしくお願いいたします。

感　想

長門地区　平井　由紀子

シルバー人材センターに入会し半年以上が過ぎました。先輩方の活動を見て、今まで培ってこられたスキルと知力で地域に貢献されている姿に感動します。

他の会員の方々と同じように自分も出来るか自信がなかなか持てませんが、これから少しでも近づけるように先輩の皆様にご指導いただきながら頑張っていきたいと思います。

ひとときき

「心の支え」

湯本門前　佐貫　勝代

雲行きの速さに傘を持ち、ほぼ満員のバスの中、いつもの人とは違った運転手さんの声。

「ハイ、気を付けて」

下車する人からは

「ありがとう、またね」

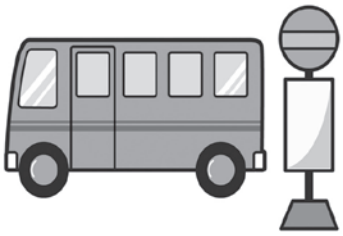
そんなやり取りを聞きながら、ふと車窓の青田に見入るとぽつんと老人の背。大変そうだが、私にはそれが元気印に見えてくる。支えるものがあり、支えてくれる人達がいる。それぞれの暮らしの中で分かち合える仲間や家族がいることの幸せを感じる。

私にも時々有難い差し入れがある。それは、友人が持ってきてくれる新聞や雑誌などの幅広い分野の切抜きや、走り書きではあるが書き抜いて渡してくれるいろいろな言葉などで、それは私の心の支えとなってくれている。『あいさつは心のパスポート(挨拶は誰も傷つけない)』、『奪い合えば足らず、分け合えば余る』等々…。

目の前に広がる青田の夕暮れは燕が低く飛び交い、風はまだひんやりとしているが、もうすぐまた暑い夏の到来。息子と孫が植えたさつまいもはまだ鹿の餌にはなっておらず、ほっと胸を撫で下ろす。

満天の星の下、いつもと同じ道を散歩する私と犬。遠くに見える外灯も、いつもと変わりなく周りをぼんやり照らしている。

「明日天気になあれ」



「私の趣味」

湯本河原　山根　雅尚

『ピンポン！』といっても訪問のチャイムではありません。

私は、シルバー人材センターでの仕事の余暇を利用して、週に三～四回卓球の練習をしています。『仙崎卓球クラブ』に所属し、仙崎中学校の卓球場を拠点に、毎回約二時間程度の練習で心地良い汗を流しています。

現在クラブ員は十六名くらいであまり多くはありません。年齢層は五十歳～八十歳の男女で、経験者、未経験者とレベルはまちまちですが、「スマッシュ」や「バックハンド」で決まった時の気分は爽快です。私自身あまり上手ではありませんが、近隣ローカルの卓球大会(シングルス、ダブルス)にも出場し、〝ピンポンフレンド〟も増えました。

卓球の良い所は、高齢者でもレベルに合わせて気軽に参加でき、健康維持にも向いている所で、私も趣味と体力維持を兼ねてこれからも続けていきたいと思います。

皆さんも、是非一緒にやってみませんか？

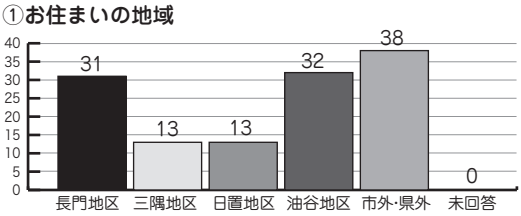
■シルバー人材センターの利用に関するアンケート調査結果■

平成31年3月実施

個人家庭･事業所200件に調査、回収数　127件（回収率 64.8%）でした。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

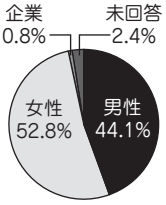
問１■回答者について

①お住まいの地域

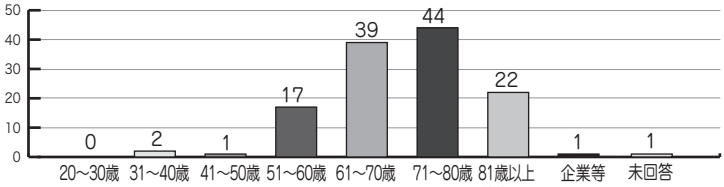


②性別

性別	人数	%
男性	56	44.1
女性	67	52.8
企業	1	0.8%
未回答	3	2.4%
合計	127	100.0%

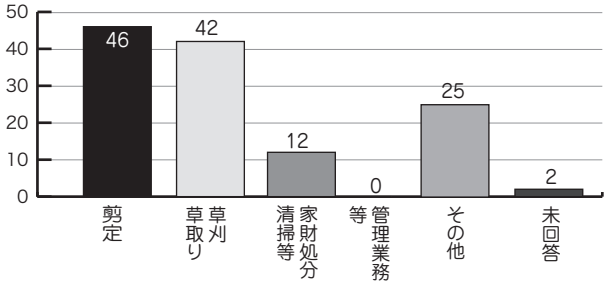


③年齢

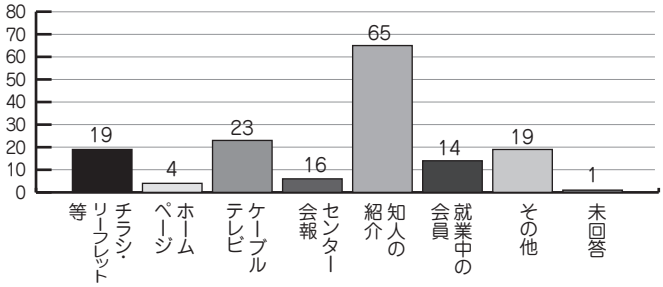


問２■シルバー人材センターについて

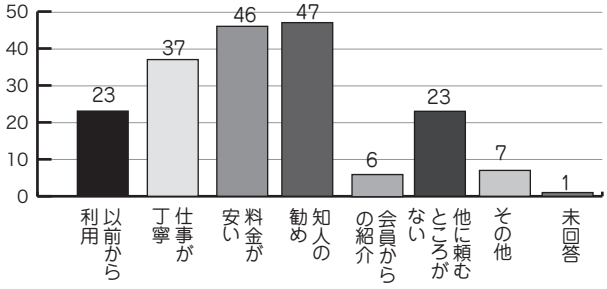
①今回ご利用された仕事の内容は？
（一番最近ご利用いただいたものをひとつお選びください）



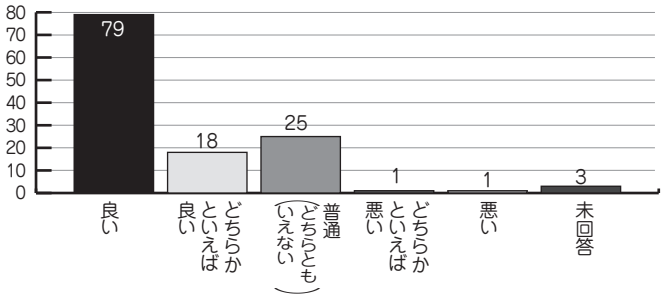
②シルバー人材センターを何でお知りになりましたか？



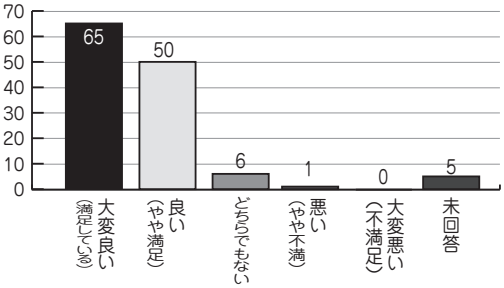
③シルバー人材センターを利用されたきっかけは？



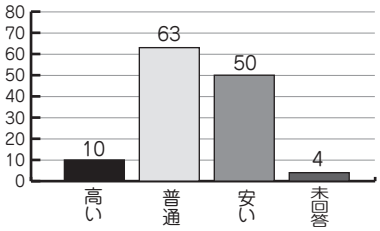
④センターへ仕事を依頼されたときの職員の電話対応・窓口対応はいかがでしたか？



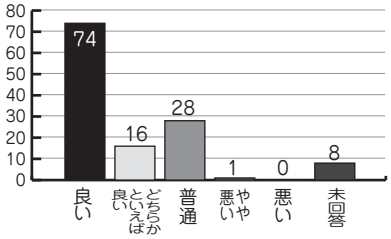
⑤ご利用されたときの仕事の出来栄えはいかがでしたか？



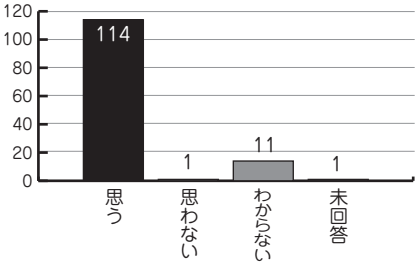
⑥センターの利用料金について

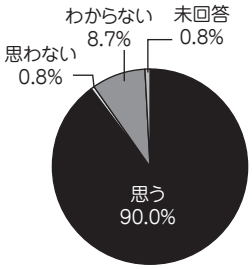


⑦会員の態度（就業中の態度や、あいさつ等のマナー等）はいかがでしたか?

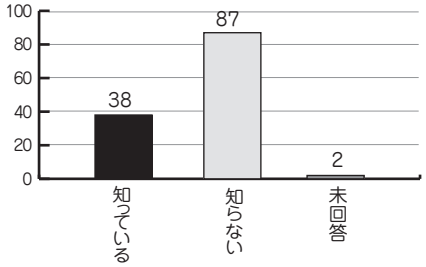


⑧今後も仕事を頼んでみようと思いますか?





⑨センターが行う『空き家見回り』を知っていますか?



会員募集中

公益社団法人 長門市シルバー人材センター
令和元年度 入会説明会日程

8月　8日㈭	8月22日㈭
9月12日㈭	9月26日㈭
10月10日㈭	10月24日㈭
11月14日㈭	11月28日㈭
12月12日㈭	12月26日㈭
1月　9日㈭	1月23日㈭
2月13日㈭	2月27日㈭
3月12日㈭	3月26日㈭

＊長門会場…　シルバー人材センター事務局
（東深川正明市4区）
午前10時～

＊油谷会場…　シルバー人材センター油谷事務所
（油谷新別名）
午後1時半～

チエブクロー

・満58歳以上の健康で働く意欲のある方をお待ちしています！
・所要時間は、約1時間30分。
・現在、雇用保険(失業保険)を受給中の方が、センターの仕事をすると保険が停止します。不都合な方は終了後の入会をお願いします。
・都合により変更する場合がありますので、電話でご確認のうえ、お越しください。

編集後記

会員の皆様、毎日のお仕事誠にお疲れ様です。

今年も『事故防止、急ぐな　あせるな　気を抜くな』をスローガンに七月一日から全国安全就業強化月間が始まりました。これは我々就業する会員の安全と幸福を守るためであります。

これから暑い夏を迎えますが、草刈等の屋外作業は多忙時期となります。体調管理にはくれぐれも留意して頂き、安全立国ドイツの相手への気遣い心を表す言葉『Ｇｌｕｃｋａｕｆ(ご安全に)』で厳しい夏の暑さを乗り切って下さい。

おわりに、令和元年六月一日から総務委員会のメンバーが若干入れ替わりました。また、今号は令和に改元されてから初めての『シルバー長門』になります。会員の皆様、今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

シルバー人材センターがお手伝いします！

お申込み・お問合せは、お気軽にご相談ください。

技能を必要とする分野

- 植木剪定
- 塗装
- 大工・左官
- 網戸張替

など

専門技術分野

- 経理事務
- パソコン編集

など

事　務　分　野

- 毛筆筆耕
- 受付事務
- 文書整理
- 調査事務

など

折衝・外交の分野

- 広報等の配布
- 検針・集金

など

屋内外の一般作業

- 公園清掃
- 園芸
- 除草・草刈
- 包装

など

管　理　分　野

- 駐車場管理
- 施設管理

など

サービス分野

- 買い物や通院の付き添い
- 家事援助　など

安全・適正就業について

センターには、会員の総意により定められた就業規則があります。もし、万一の事故等が発生した場合は、シルバー傷害保険等(傷害・賠償責任)で対応します。

総　務　委　員　会

委員長	松尾　邦憲	委員	山田恵美子
副委員長	廣田　隆男	〃	山根　雅尚
委員	木下　和江	〃	横田　新吾
〃	長冨　隆士		

公益社団法人 長門市シルバー人材センター

〒759-4101　山口県長門市東深川正明市4区
TEL(0837)22-5639　FAX(0837)22-6547

三隅事務所
〒759-3803
長門市三隅下豊原
ＴＥＬ 43-2588
ＦＡＸ 43-2588

日置事務所
〒759-4401
長門市日置上古市
ＴＥＬ 37-2515
ＦＡＸ 37-2515

油谷事務所
〒759-4503
長門市油谷新別名
ＴＥＬ 33-0009
ＦＡＸ 33-0009